



# さくほ 議会だより



ブルーベリー



メロディ うまく合っているかな？

6月定例会のあらまし .....	2P
平成23年度 補正予算 .....	3P
議会構成 .....	4P～
一般質問（5人が町政を質す） .....	6P～
第3回 臨時議会・一部事務組合 議会報告 .....	9P
委員会活動から .....	10P～
請願・陳情 .....	13P
しらかば .....	14P

平成23年7月28日

**第25号**

発行：佐久穂町議会  
議長 今井 邦三  
編集：議会広報編集調査特別委員会  
印刷：(有)東城印刷佐久穂工場  
〒384-0697  
長野県南佐久郡佐久穂町  
大字高野町569  
TEL 0267-86-2525  
FAX 0267-86-4935

平成23年

6月定例会

定例会のあらまし

青葉の5月も終わらぬうちに早くも梅雨入り。そんな雨空の中、第4回定例会が3日から16日まで開かれました。

今定例会は、議会構成が変わり、新議長・副議長のもと、これまでの3常任委員会を2常任委員会に編成しての議会です。

開会に先立ち、去る5月5日急逝された須田道春議員に黙祷をささげました。

町長は招集あいさつの中で、東日本大震災の復興支援と原発事故の収束について、与野党とも協調し、国民の願いにこたえた復興支援をと、政局への思いを語りました。

行政の動きについて、外国資本による森林買収の動きに対し、佐久広域で地下水等水資源保全連絡調整会議を発足させ、対策にあたることを報告されました。

国保会計について、医療給付費が毎年増加する反面加入者の所得の減少により税収が減少し、不足分を基金の取り崩しで対応してきましたが、基金も無くなり、国保税を引き上げなくてはな

らない状況とのことです。

しかし、一年で赤字にするためには、大幅な引き上げが必要のため、数年かけて赤字に転換できるよう、引き上げ幅を極力抑えたいとの方針が示されました。

統合小中学校整備事業については、現在基本設計原案について建設検討委員会等で意見をまとめ、設計業者と協議するなど作業をすすめていると、状況報告がありました。

「思いやりと健康に満ちたみんな元気なまち」の実現に向けて、今年3月から4つの施策、①障がい者福祉施設「陽だまりの家」の開設、②佐久穂町食育推進計画の配布、③冊子「健康づくりのあゆみ」の発行、④75歳以上の方々対象の施設検診の導入が実施されてきたことが報告されました。

提出された議案等は、平成22年度病院事業会計決算認定、平成22年度一般会計及び特別会計の最終補正の専決の承認、国保税改定の条例改正案、平成23年度一般会計及び特別会計補正予算案など22件でした。請願は3件、陳情は1件が提出されました。

決算認定

平成22年度病院事業会計決算における経常損益6,182万円の赤字となりました。

専決処分の承認

平成22年度一般会計、国民健康保険特別会計他2つの特別会計と病院事業会計の最終補正が専決処分されました。

条例改正

町税条例  
東日本大震災に係る被災者への税負担軽減のため。

国民健康保険条例

出産育児一時金の支給額を39万円にするもの。  
国民健康保険税条例

国保会計の赤字解消のため、国保税の引き上げをはかるもの。

町立学校設置条例

佐久東小学校が、平成24年3月31日閉校となるため。

条例の廃止  
へき地保育所条例

大日向保育園が廃止となるため。

補正予算

一般会計及び国民健康保険特別会計他5件の特別会計、

病院事業会計の補正予算案が提出されました。

請願・陳情

30人規模学級の早期実現を求める請願など3件。穴原・崎田区などより道路の拡幅改良を求める陳情1件が提出されました。他継続審査となっている陳情2件。

その他

物品購入契約議案2件。平成22年度一般会計及び老人保健施設特別会計の繰越明許、一般会計の事故繰越の報告がありました。

一般質問

5人から一般質問が出され、災害対策、千曲病院の運営、水源地保全、定住自立圏構想、統合小中学校に関する問題などについて、町の方針や政策を質しました。



6月定例会

# 平成23年度補正予算

## 一般会計…3,432万4千円追加



医療用画像情報管理装置  
(上は旧)下の画面が新システム

歳入・歳出予算の総額に3,432万4千円が追加計上され、慎重審議の結果可決されました。  
歳入・歳出の総額は、72億9,532万4千円。

### 収入は、

県支出金、135万円。  
繰越金、3,000万円。  
諸収入、297万4千円。

### 支出の総額は、

議会費、31万5千円。  
総務費、8,302万6千円。  
衛生費、58万8千円。

農林水産業費、1,423万1千円。

消防費、517万9千円。  
教育費、3,608万9千円。

また、支出の減額は、民生費、6,904万1千円。

商工費、386万4千円。  
土木費、3,161万5千円。  
予備費、58万4千円。

尚、増減の内訳は、人事移動によるものが、ほとんどを占めます。

## 平成22年度

## 千曲病院事業会計決算

### 旧「よりあい亭」売却

平成22年度、病院事業会計決算書が、提出されました。

### ●総括事項

国の医療費抑制政策の厳しさは相変わらずで、病院経営にとって、益々大変ななっています。さらに、経営の効率化、再編ネットワーク化、事業規模・経営形態の見直し等が、重要になります。

### ●主な事業

利用者の快適性向上のため、耐震工事、病棟やトイレの改修、下水管布設替え工事を実施。器械備品購入は、医療用画像情報管理装置、无影灯、クリーンベンチ、モニタリングシステム等。

介護療養病床の転換については、期限が6年間延長となる予定で、どの様に利

用者の要望を取り入れていくかが、重要です。

中部横断道路の取付け道拡幅に伴い、旧「よりあい亭」の土地及び建物を売却いたしました。

新「よりあい亭」は、議会だより第20号でお知らせした様に、たいへん良い所です。

### ●決算概要

22年11月、町立移管40周年記念の病院祭を行い、多くの方が来院されました。

入院患者35,235人。  
21年度より1,717人減。  
外来患者49,224人。  
前年度比1,343人の増。

総費用は、収入で、14億8,522万6千円。支出15億4,212万6千円となり、5,690万円の収入不足になりました。

町民ドックが中間年となり、受診者の減員が影響していると思われます。



耐震補強された病棟







# 災害時、避難場所の安全性の確保はされているか

## 町長 広域避難場所は学校校舎・グラウンド等



岡部 勝一

対策は取っていません。

**問** 書類棚、書籍等の転倒防止飛散防止は、どの様な対策がされていますか。

公助は間に合わない、自助共助が中心になります。ソフト面の最重要課題です。

**問** 農業用水路の維持管理について、町の基本姿勢は。

**問** 減災対策として、災害時、避難場所にもなる学校等、公共施設の確保は。

**総務課長** 留め具等はやっていません。公共施設については、考え直さないといいないと思います。

**町長** 第一次避難場所として、73ヶ所、地区公民館は53ヶ所指定しています。広域避難場所は、学校、公園、グラウンド、役場庁舎など、16ヶ所があります。

**問** 災害時、必要になる情報の入手について、ラジオの導入が考えられるが。

**問** 公共施設の安全性から窓ガラスの飛散対策は、どの様に考えますか。

**町長** ふだんから、聴くくせを付けたいですね。



**総務課長** 普通のガラスを使用しています。

**問** 独居老人、要介護者の避難誘導は、どうするか。

**教育委員会次長** 飛散防止

**健康福祉課長** 行政が行う

**産業振興課長** 今年4月開

**問** 平成23年4月、森林法が改正され、木造公共建造物等の整備に、予算が盛り込まれましたか。

**町長** 明治29年、河川法成立以前より取水していたものは、慣行水利権です。

**問** 水利権については。

**町長** 従来どおり、水路利用されている皆様が、管理していただきたい。

所した、福祉施設は国の補助を使用しています。

# 千曲病院の今後の経営方針は

## 自治体病院として経営効率化の中で良質な医療の提供に取り組みます

町長

井出 和廣



**問** 佐久総合病院との医療連携の考えは。

**町長** 救急急性期医療の専門病院としての基幹医療センターが、中込地区に建設されるため、千曲病院も今までとは異なった地域連携病院としての一端を担うことになると考えています。

**問** 千曲病院改革プランは達成可能か。

**町長** 現状の入院患者の状況や、外来患者状況を考慮しますと、今後、地域連携や収益増加案を積極的に行うにしても、23年度黒字化は難しい状況と考えます。

### 成年後見制度について

**問** 成年後見制度の普及支援の考えは。

**町長** 地域包括支援センター、福祉係で相談情報提供・支援を行っています。20年9月、町成年後見制度利用支援実施要綱を定めて助成制度を設けました。

今後、広報紙や健康教室等を利用し、情報提供と普及を推進します。

**問** 成年後見制度相談窓口が必要と考えますが。

**町長** 佐久広域で一元化し、24年4月、佐久圏域成年後見人支援センターが設置の方向で検討されています。当町は包括支援センターと福祉係が窓口となります。

**問** 外国人土地買収に係る対策は必要ないか。

**町長** 水資源の保全と合わせ、外国資本の土地買収から国土を守る方策を、広域的に研究していきます。



千曲病院



# 定住自立圏構想の推進について

町長

## 佐久圏域定住自立圏(仮称)の協議を進めています

井出 清嗣



**問** 佐久穂町として、参加するメリットは何が。

**町長** 中心市の都市機能と、周辺市町村の産業、自然、文化の魅力を活用し、連携協力により圏域全体の人口定住を図ることができま

**問** どの分野に参加するのかが。検討しているか。

**町長** 10分野21事業について、協議を重ねています。町にとってメリットのある事業にのみ参加します。

### 水源地・町有地の保全と活用について

**問** 水源保全のために、町有林の維持管理費用は、佐久水道企業団からの水源保全管理協力を充ててはどうか。

**町長** 水源保全管理協力は22年度929万円、一般財源として計上してあります。水源保全涵養林として、整備する必要があれば考えます。

**問** 「夢の森」周辺町有地の有効活用について。

**町長** 土地賃貸先の都合で契約を解除し、建物2棟の所有権は放棄されました。この土地の利活用方法は、相談します。

### 納税相談会場について

**問** 婦人研修センター1ヶ所になり、旧八千穂地区住民は、不便となった。

**町長** 八千穂庁舎は、木造部分老朽化と、少人数の職員で対応するため、1ヶ所にしました。



八千穂大石水源

# 新校舎の木造化の提案はなぜないのか

町長

ぜひ木は使いたいです、どこまでできるか検討していただきます

高見澤 春野



総務課長

改修には多額の費用が必要で難しいです。簡易スロープ等を設置することで対応していきます。

**問** 町の情報を携帯電話へメール配信することを考えては。

**総務課長** 来年度以降検討に入る考えです。

統合小中学校の設計は

**問** 基本設計を変更できる期限は。本設計の変更は可能なのか。

**教育長** 7月末から8月上旬が限度と考えます。本設計の変更は、軽微なものが可能です。

**問** 木造化、一部木造化の提案はなぜないのか。

**町長** 木は使いたいです。どこまで使えるかプロの皆さんに十分検討していただきます。



伐期近い町の木材

**総務課長** 多額の費用がかかる割合に受益者が少なく、これからは空いている民間住宅の活用が課題です。経年劣化による家賃引き下げは、民間の経営を圧迫することになり、難しいです。

**問** 町営住宅のバリアフリー化はしてはどうか。

一般質問

一般質問

# 学校統合による空き校舎、災害時の避難場所

町長 広域避難場所としての位置づけを考慮し検討します



岡部 学

**問** 学校統合による空き校舎の利用について、災害時の避難場所として使えるようにしておく必要があるのでは。

**町長** 統合小・中学校整備庁内検討会議において、空き校舎等の利用について意見の集約を行っています。佐久穂町防災計画に指定されている、広域避難場所としての位置づけを考慮しながら検討したいと思えます。

**問** 通学路の選定や危険箇所

**町長** 安全な通学路確保に向け、主要地方道川上・佐久線バイパス工事の準備をすすめています。国道141号線と下畑橋の交差点への信号機と横断歩道の設置を、佐久警察署を通し県公安委員会へ要望しています。国道299号線四ツ谷交差点への歩行者滞留所の設置や、国道141号線への歩道の整備などをすすめていきます。

国保税減額・免除の制度を

**問** 国保税の引き上げが避けられない事態というが、低所得者のため、町独自の減額、免除の制度をつくってはどうか。

**町長** 国保税については、ありったけ低くと合併以来やってきて、基金も底をついたため、上げざるを得ません。本当に大変なお宅については、考えてみたいと思います。



四ツ谷交差点

総括質疑

**問** 共同作業所への清掃委託賃金が、一般委託料に変更になったが、陽だまりの家の指定管理料に含まれないのか。

**答** 指定管理料に含まれません。清掃委託料は、陽だまりの家の利用者が行う、トイレ清掃という労働に対して支払うものです。



## 須田道春議員 御逝去



平成二十三年三月下旬より、自宅に於いて、病氣治療に専念していましたが、平成二十三年五月五日に、御逝去されました。

平成十七年、町村合併し初めての議会議員選挙にて初当選され、今日に至っております。

故須田道春様は、永年佐久町職員として御活躍され、定年前に、当時の佐久町長に手腕を見込まれ、若くして町収入役を務めておられました。

議会人になられたからは、社会福祉委員として、子育て支援、在宅老人福祉対策等に取り組んでこられました。

又、議員活動の一部でもある、先進地視察研修に於いても、ハンディキャップがあるにも拘わらず積極的に参加されるなど、その高い学習意欲には、敬服させられました。

町の発展にとつて、欠かせない人物でしたが、あまりにも早い御逝去には、只々残念でなりません。

心より、お悔やみ申し上げます。





# 平成23年度 第3回臨時議会

第3回臨時議会  
が、4月20日に  
開かれました

議案3件。

条例改正、一般会計補正  
予算、人事案が内容です。

● 条例改正2件

公益法人等へ職員派遣  
に際し、不利益が生じな  
いように改正する。

● 一般会計

固定資産税の課税に、  
不服の訴えがあり、この  
訴訟費用100万円の増  
額補正。

● 教育委員会委員の任命に  
ついて。  
関 さゆり 氏

審議の結果、原案どおり  
可決しました。

## 一部事務組合

## 議会報告

### 佐久広域

### 連合

### 平成23年度

### 第1回定例会

一、 条例改正2件。

広域行政圏計画審議会  
条例の廃止と消防施設整  
備基金を設置するもの。

二、 その他2件。

広域計画策定と、老人  
ホーム徳花苑の指定管理  
者に立科町を指定するも  
の。

三、 平成22年度一般会計他

5 特別会計補正予算。  
事業の精査による減額  
補正。



佐久水道配水池

四、 平成23年度一般会計他  
5 特別会計予算案につい  
て。

提出された案件は、原案  
どおり可決されました。

### 佐久水道

### 企業団

### 平成23年度

### 第1回臨時議会

一、 議長、副議長の選挙、  
常任委員、議会運営委員  
の選任、正副委員長の互  
選が行われました。

二、 監査委員に菊原初男氏  
を再任することが同意さ  
れました。

三、 平成23年度水道事業会  
計補正予算。  
配水池の耐震診断7千  
万円の増額補正。

原案どおり可決されまし  
た。

## 佐久平環境 衛生組合

### 平成23年度 第1回臨時議会

一、 議長、副議長の選挙、  
議会運営委員の選任、正  
副委員長の互選が行われ  
ました。

二、 監査委員に三浦正久氏  
を選任することが同意さ  
れました。



# 活動から

## 総務文教常任委員会

### 国民健康保険税条例 改正について審査 意見を付して可決

国保会計は、合併以来基金を取りくずし税率をすえ置いてきましたが、22年度で基金がほとんどなくなるため、23年度より税率を9・6%引き上げとするものです。

厳しい経営状況であり、税率の改正はやむを得ないと考えるが、低所得世帯の負担軽減を図ることが重要であるとの意見で一致。一般会計からの繰入を検討すべき旨、意見を付しました。



太陽光発電設置家屋

### 平成23年度 補正予算

太陽光発電設置補助金が不足となるため、500万円追加しました。

東日本大震災災害避難者受入施設として、白石荘を指定し300万円。他、災害地への職員派遣経費等で456万2千円が計上されました。

統合小中学校敷地買収に係る代替地補修工事費450万円が計上されました。

海瀬グラウンド借地5,190㎡を㎡1,480円、768万2千円が、土地購入費として計上されました。



廃園となる大日向保育園

## 佐久穂町条例改正

### 税条例の一部改正

東日本大震災の被害者への、税制上の緊急対応として措置を講ずるものです。

### 町立学校設置条例の一部改正

佐久東小学校を24年3月31日で閉校するため、条例から削除するものです。

### 国民健康保険条例の一部改正

出産一時金は、経過措置で39万円となっていました。経過措置後も39万円の支給となります。

### 佐久穂町へき地保育所条例を廃止

休園としていた大日向保育園を閉園とするため、条例を廃止するものです。

# 委員会

## 経済福祉常任委員会

### 子宮頸がん ワクチン接種再開

ワクチン不足で、希望者に接種できないでいましたが、7月からワクチンが供給され、接種が再開されます。

年生から高校1年生までの4学年が対象で、申請して受けられなかった22人の2回分の予算です。

平成22年、23年度は国の補助事業です。現在中学1

接種率88・6%になります。

### 迷わず山を調査 出来るシステム

森林整備計画をつくるため、携帯型GPS（全球無線測位システム）を1台購入する補正予算52万5千円。

人工衛星からの電波を利用する機械です。山の状況を調査する人が歩いた形跡

を記録出来、また自分が今いる場所の確認をすることが出来るものです。

山を知る専門の職員を置けば必要と思われるが、県との連携上、やむを得ないと全員賛成しました。

## 有害鳥獣ネット設置交付金を 増額 435万5,000円

対策をしても、なかなか減らない有害鳥獣ですが、中でもシカの被害には泣かされています。

町では、組織型（集落単位）のネット設置に交付金があります。昨年は2地区新たに2地区計4地区分の増額補正です。

● 昨年から継続の地区

柳沢	0.72 km
八郡まきの平	0.6 km

● 新規地区

大日向	2.8 km
へび石・大石	1.7 km



獣害ネットで野菜を守る地域



# 町内視察

## 委員会合同

去る6月8日6月定例会中、委員会合同での町内視察を行いました。

委員会より説明を受けました。

③町道穴原線〜崎田線、花岡妻上線

〈今議会陳情路線〉

東電調整池を通る、台地上の拡幅・改良する陳情であり、すれ違いの出来ない危険箇所を含め、建設課より説明を受けました。

### 視察場所

①統合小・中学校建設予定地

平成27年度開校予定の統合小・中学校の建設予定地の購入は、ほぼ決まりました。教育

②県道川上佐久線バイパス計画予定路線

〈海瀬〜穂積間〉中部横断道八千穂IC、統合校舎建設に伴い、バイパス計画の予定路線について、建設課より説明を受けました。



川上佐久線バイパス予定地付近



町道花岡妻上線

議員 松澤健一

議員 友野辰五郎

## 表彰される

### 自治功労者表彰

松澤健一 議員

議会活動を通じ、地方自治の進展のため大きな役割を果たしていることが高く評価され、全国町村議会議長会より表彰を受けられました。誠にありがとうございます。

### 感謝状

友野辰五郎 議員

議会活動を通じ、南佐久郡の伸展と地方自治の振興に大きな役割を果たしていることが高く評価され、南佐久郡町村議会会長より表彰されました。誠にありがとうございます。



# 請願

「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める請願書

佐久穂町教職員組合  
新海 博江  
紹介議員  
小林 武

国の責務である教育水準の最低保障を担保するために、必要不可欠な義務教育費国庫負担制度を堅持し、負担率を1/2に還元すること。国庫負担金から既に除外した教材費、旅費、共済費、退職手当など還元すること。

(採択)

30人規模学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書提出に関する請願書

佐久穂町教職員組合  
新海 博江  
紹介議員  
小林 武

学校をとりまく諸問題を解決するため、国の責任で早期に「30人学級定員」を

実現することを含めた、新教職員定数改善計画を即座に実施すること。また学校現場に必要な教職員の人員・人材を確保すること。

(採択)

長野県独自の30人規模学級の、中学校全学年への早期拡大と複式学級の解消、県独自に教職員配置増を求める意見書提出に関する請願書

佐久穂町教職員組合  
新海 博江  
紹介議員  
小林 武

次代を担う子どもたちの健やかな成長のために、県独自の「30人規模学級」を中学校全学年へ早期に拡大すること。現行の複式学級の編成基準を改善し、県独自に複式学級解消措置を更に充実すること。県独自で教職員配置の大幅増を実現すること。

(採択)

# 陳情

町道穴原・崎田・花岡妻上線の拡幅改良に関する陳情書

筆岩区長 篠原 博文  
高岩区長 佐藤 重廣  
中央区長 黒澤 信夫  
穴原区長 内藤 吉男  
天神町区長 出浦 晃彦  
崎田区長 高見澤国勝  
花岡区長 土屋 一芳  
下海瀨区長 山口 英男  
海瀨新田区長 細川 哲

花岡妻上〜東電調整池〜穴原は、長い距離にも関わらず大変狭く危険のため、道路拡幅、改良の願いを



30人学級の早期実現を

するもの。(採択)

前議会から継続審査となっている「公共建築物の設計等」に関する陳情は、再び継続審査となりました。



東電調整池横道路



卒業式

## 閉会中の議員活動

3月〜5月 (主なもの)

- 3月
  - 小・中学校卒業式
  - 保育園卒園式
  - 佐久広域連合定例会
  - 広報編集調査特別委員会
- 4月
  - 保育園入園式
  - 小・中学校入学式
  - 障がい者福祉施設「陽たまりの家」開所式
  - 第25回ツールド八ヶ岳
  - メルヘン街道開通式
  - 統合小中学校建設検討委員会
  - 遺族会総会
- 5月
  - 交通安全運動人波作戦
  - 南佐久郡議長会
  - 商工会総会
  - 統合小中学校建設検討委員会
  - 佐久病院 病院祭
  - 交通安全協会総会
  - シルバー人材センター総会
  - 横浜社会福祉協会評議員会
  - 佐久平環境衛生組合議会臨時会
  - 佐久水道企業団議会臨時会
  - 千曲病院経営審議会
  - 議会運営委員会



# 心の再起へ

市川 長太郎



床下のヘドロの排出

東日本大震災から3カ月が過ぎた6月13日〜16日間で、宮城県で復旧支援ボランティアの活動をしてきました。

仙台市から国道45号線を石巻方面に車を走らせていると、東松島市付近では、あの津波の恐ろしい爪痕が眼に入りました。田んぼには瓦礫や流木が重なり、一部は撤去もされていました。手付かずのところもほとんどです。独特の臭いは車の中にも充満しました。我々が活動したところは

東松山市、航空自衛隊東松島駐屯地のすぐ近く、海から3km内陸にはいった新興住宅地、全戸が津波の被害を受けています。

田んぼは海水が溜まり、船・トラックなどが無残な姿を見せ、思わず眼を覆いたくなりました。スギ・ツゲの街路樹は塩害で、茶色く枯れはてていました。作業は築15年の住宅。家主さんは震災当時、家族3人とも家から避難していましたが、4日後に戻ったそうです。約2mの高さまで津

波が押し寄せ、その跡が確認できました。

床下に堆積したヘドロは8cmもの厚さで、バウムクーヘンのように、何重も層が出来ていて、玉子焼きのような堅さ。スコップで削ぎ取るように取り除いてきました。わずか2日間の作業でしたが、恵まれた日々の生活、たすけ合う心、おもいやる心を、今回のボランティアを通して再確認させて頂きました。

帰りに家主さんからは、「ご尽力のおかげで我が家ばかりか、家族の心も再起への一歩を踏み出すことが出来ました。よみがえったわが家へ遊びにおいでいただければ幸いです」と礼状を頂きました。機会をみつけて、また行きたいと思っています。

次回定例会は  
9月上旬に  
予定しています。  
多くの皆さんの傍聴を  
お待ちしております。

## 読んで分かる紙面をめざして

議会広報編集調査特別委員会

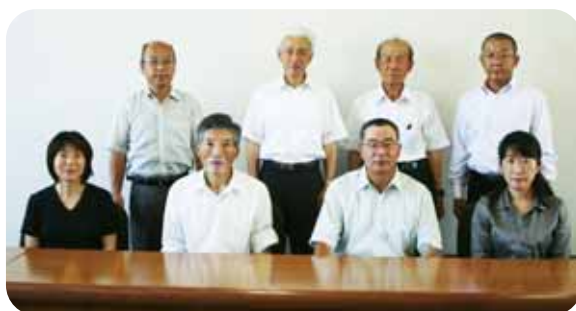
議会構成が変わり、メンバーも一部入れ替わりました。

これまでの広報編集委員会が目指してきた、読みやすく、親しまれる「議会だより」づくりに向け、一同気持ちを新たに取組んでいきます。

「読めば町の動きや、課題がよく分かる」と言っていただけよう、一層工夫・研究を重ねていきたいと思えます。

読まれての感想やご意見をお寄せください。

- 編集委員長 岡部 学
- 副編集委員長 小林 武



- 編集委員 高見澤 春野
- 編集委員 井出 和廣
- 編集委員 浅井 正昭
- 編集委員 岡部 勝一

## 編集後記

東日本大震災から4カ月。今、被災地では復興に向け、懸命な努力が続けられています。しかし、あの大きな災害からの復興は、個人の

力だけではどうにもならない。政治の速やかな対応こそ強く求められているのに、国会は被災者を置きざりにした政争のくり返し。被災者の悲痛の思いを受けとめ、大団に付くときではないでしょうか。





# さくほ 議会だより



ブルーベリー



メロディ うまく合っているかな？

6月定例会のあらまし .....	2P
平成23年度 補正予算 .....	3P
議会構成 .....	4P～
一般質問（5人が町政を質す） .....	6P～
第3回 臨時議会・一部事務組合 議会報告 .....	9P
委員会活動から .....	10P～
請願・陳情 .....	13P
しらかば .....	14P

平成23年7月28日

**第25号**

発行：佐久穂町議会  
議長 今井 邦三  
編集：議会広報編集調査特別委員会  
印刷：(有)東城印刷佐久穂工場  
〒384-0697  
長野県南佐久郡佐久穂町  
大字高野町569  
TEL 0267-86-2525  
FAX 0267-86-4935

平成23年

6月定例会

定例会のあらまし

青葉の5月も終わらぬうちに早くも梅雨入り。そんな雨空の中、第4回定例会が3日から16日まで開かれました。

今定例会は、議会構成が変わり、新議長・副議長のもと、これまでの3常任委員会を2常任委員会に編成しての議会です。

開会に先立ち、去る5月5日急逝された須田道春議員に黙祷をささげました。

町長は招集あいさつの中で、東日本大震災の復興支援と原発事故の収束について、与野党とも協調し、国民の願いにこたえた復興支援をと、政局への思いを語りました。

行政の動きについて、外国資本による森林買収の動きに対し、佐久広域で地下水等水資源保全連絡調整会議を発足させ、対策にあたる事が報告されました。

国保会計について、医療給付費が毎年増加する反面加入者の所得の減少により税収が減少し、不足分を基金の取り崩しで対応してきましたが、基金も無くなり、国保税を引き上げなくてはな

らない状況とのことです。

しかし、一年で赤字にするためには、大幅な引き上げが必要のため、数年かけて赤字に転換できるよう、引き上げ幅を極力抑えたいとの方針が示されました。

統合小中学校整備事業については、現在基本設計原案について建設検討委員会等で意見をまとめ、設計業者と協議するなど作業をすすめていると、状況報告がありました。

「思いやりと健康に満ちたみんな元気なまち」の実現に向けて、今年3月から4つの施策、①障がい者福祉施設「陽だまりの家」の開設、②佐久穂町食育推進計画の配布、③冊子「健康づくりのあゆみ」の発行、④75歳以上の方々対象の施設検診の導入が実施されてきたことが報告されました。

提出された議案等は、平成22年度病院事業会計決算認定、平成22年度一般会計及び特別会計の最終補正の専決の承認、国保税改定の条例改正案、平成23年度一般会計及び特別会計補正予算案など22件でした。請願は3件、陳情は1件が提出されました。

決算認定

平成22年度病院事業会計決算における経常損益6,182万円の赤字となりました。

専決処分の承認

平成22年度一般会計、国民健康保険特別会計他2つの特別会計と病院事業会計の最終補正が専決処分されました。

条例改正

町税条例  
東日本大震災に係る被災者への税負担軽減のため。

国民健康保険条例

出産育児一時金の支給額を39万円にするもの。  
国民健康保険税条例

国保会計の赤字解消のため、国保税の引き上げをはかるもの。

町立学校設置条例

佐久東小学校が、平成24年3月31日閉校となるため。

条例の廃止  
へき地保育所条例

大日向保育園が廃止となるため。

補正予算

一般会計及び国民健康保険特別会計他5件の特別会計、

病院事業会計の補正予算案が提出されました。

請願・陳情

30人規模学級の早期実現を求める請願など3件。穴原・崎田区などより道路の拡幅改良を求める陳情1件が提出されました。他継続審査となっている陳情2件。

その他

物品購入契約議案2件。平成22年度一般会計及び老人保健施設特別会計の繰越明許、一般会計の事故繰越の報告がありました。

一般質問

5人から一般質問が出され、災害対策、千曲病院の運営、水源地保全、定住自立圏構想、統合小中学校に関する問題などについて、町の方針や政策を質しました。



6月定例会

# 平成23年度補正予算

## 一般会計…3,432万4千円追加



医療用画像情報管理装置  
(上は旧)下の画面が新システム

歳入・歳出予算の総額に3,432万4千円が追加計上され、慎重審議の結果可決されました。  
歳入・歳出の総額は、72億9,532万4千円。

### 収入は、

県支出金、135万円。  
繰越金、3,000万円。  
諸収入、297万4千円。

### 支出の総額は、

議会費、31万5千円。  
総務費、8,302万6千円。  
衛生費、58万8千円。

農林水産業費、1,423万1千円。

消防費、517万9千円。  
教育費、3,608万9千円。

また、支出の減額は、民生費、6,904万1千円。

商工費、386万4千円。  
土木費、3,161万5千円。

予備費、58万4千円。  
尚、増減の内訳は、人事移動によるものが、ほとんどを占めます。

## 平成22年度

## 千曲病院事業会計決算

### 旧「よりあい亭」売却

平成22年度、病院事業会計決算書が、提出されました。

### ●総括事項

国の医療費抑制政策の厳しさは相変わらずで、病院経営にとって、益々大変ななっています。さらに、経営の効率化、再編ネットワーク化、事業規模・経営形態の見直し等が、重要になります。

### ●主な事業

利用者の快適性向上のため、耐震工事、病棟やトイレの改修、下水管布設替え工事を実施。器械備品購入は、医療用画像情報管理装置、无影灯、クリーンベンチ、モニタリングシステム等。

介護療養病床の転換については、期限が6年間延長となる予定で、どの様に利

用者の要望を取り入れていくかが、重要です。

中部横断道路の取付け道拡幅に伴い、旧「よりあい亭」の土地及び建物を売却いたしました。

新「よりあい亭」は、議会だより第20号でお知らせした様に、たいへん良い所です。

### ●決算概要

22年11月、町立移管40周年記念の病院祭を行い、多くの方が来院されました。

入院患者35,235人。  
21年度より1,717人減。  
外来患者49,224人。  
前年度比1,343人の増。

総費用は、収入で、14億8,522万6千円。支出15億4,212万6千円となり、5,690万円の収入不足になりました。

町民ドックが中間年となり、受診者の減員が影響していると思われます。



耐震補強された病棟







# 災害時、避難場所の安全性の確保はされているか

## 町長 広域避難場所は学校校舎・グラウンド等



岡部 勝一

対策は取っていません。

**問** 書類棚、書籍等の転倒防止飛散防止は、どの様な対策がされていますか。

公助は間に合わない、自助共助が中心になります。ソフト面の最重要課題です。

**問** 農業用水路の維持管理について、町の基本姿勢は。

**問** 減災対策として、災害時、避難場所にもなる学校等、公共施設の確保は。

**総務課長** 留め具等はやっていません。公共施設については、考え直さないといいないと思います。

**町長** 従来どおり、水路利用されている皆様が、管理していただきたい。

**町長** 第一次避難場所として、73ヶ所、地区公民館は53ヶ所指定しています。広域避難場所は、学校、公園、グラウンド、役場庁舎など、16ヶ所があります。

**問** 災害時、必要になる情報の入手について、ラジオの導入が考えられるが。

**問** 水利権については。

**問** 公共施設の安全性から窓ガラスの飛散対策は、どの様に考えますか。

**町長** ふだんから、聴くくせを付けたいですね。



**町長** 明治29年、河川法成立以前より取水していたものは、慣行水利権です。

**総務課長** 普通のガラスを使用しています。

**問** 独居老人、要介護者の避難誘導は、どうするか。

**問** 平成23年4月、森林法が改正され、木造公共建造物等の整備に、予算が盛り込まれましたが。

**教育委員会次長** 飛散防止

**健康福祉課長** 行政が行う

**産業振興課長** 今年4月開所した、福祉施設は国の補助を使用しています。

# 千曲病院の今後の経営方針は

## 自治体病院として経営効率化の中で良質な医療の提供に取り組みます

町長

井出 和廣



**問** 佐久総合病院との医療連携の考えは。

**町長** 救急急性期医療の専門病院としての基幹医療センターが、中込地区に建設されるため、千曲病院も今までとは異なった地域連携病院としての一端を担うことになると考えています。

**問** 千曲病院改革プランは達成可能か。

**町長** 現状の入院患者の状況や、外来患者状況を考慮しますと、今後、地域連携や収益増加案を積極的に行うにしても、23年度黒字化は難しい状況と考えます。

### 成年後見制度について

**問** 成年後見制度の普及支援の考えは。

**町長** 地域包括支援センター、福祉係で相談情報提供・支援を行っています。20年9月、町成年後見制度利用支援実施要綱を定めて助成制度を設けました。

今後、広報紙や健康教室等を利用し、情報提供と普及を推進します。

**問** 成年後見制度相談窓口が必要と考えますが。

**町長** 佐久広域で一元化し、24年4月、佐久圏域成年後見人支援センターが設置の方向で検討されています。当町は包括支援センターと福祉係が窓口となります。

**問** 外国人土地買収に係る対策は必要ないか。

**町長** 水資源の保全と合わせ、外国資本の土地買収から国土を守る方策を、広域的に研究していきます。



千曲病院



# 定住自立圏構想の推進について

町長

## 佐久圏域定住自立圏(仮称)の協議を進めています

井出 清嗣



**問** 佐久穂町として、参加するメリットは何か。

**町長** 中心市の都市機能と、周辺市町村の産業、自然、文化の魅力を活用し、連携協力により圏域全体の人口定住を図ることができま

**問** どの分野に参加するのか。検討しているか。

**町長** 10分野21事業について、協議を重ねています。町にとってメリットのある事業にのみ参加します。

### 水源地・町有地の保全と活用について

**問** 水源保全のために、町有林の維持管理費用は、佐久水道企業団からの水源保全管理協力を充ててはどうか。

**町長** 水源保全管理協力は22年度929万円、一般財源として計上してあります。水源保全涵養林として、整備する必要があれば考えます。

**問** 「夢の森」周辺町有地の有効活用について。

**町長** 土地賃貸先の都合で契約を解除し、建物2棟の所有権は放棄されました。この土地の利活用方法は、相談します。

### 納税相談会場について

**問** 婦人研修センター1ヶ所になり、旧八千穂地区住民は、不便となった。

**町長** 八千穂庁舎は、木造部分老朽化と、少人数の職員で対応するため、1ヶ所にしました。



八千穂大石水源

# 新校舎の木造化の提案はなぜしないのか

町長

ぜひ木は使いたいです、どこまでできるか検討していただきます

高見澤 春野



総務課長

改修には多額の費用が必要で難しいです。簡易スロープ等を設置することで対応していきます。

**問** 町の情報を携帯電話へメール配信することを考えては。

**総務課長** 来年度以降検討に入る考えです。

統合小中学校の設計は

**問** 基本設計を変更できる期限は。本設計の変更は可能なのか。

**教育長** 7月末から8月上旬が限度と考えます。

本設計の変更は、軽微なものが可能です。

**問** 木造化、一部木造化の提案はなぜないのか。

**町長** 木は使いたいです。どこまで使えるかプロの皆さんに十分検討していただきます。



伐期近い町の木材

**総務課長** 多額の費用がかかる割合に受益者が少なく、これからは空いている民間住宅の活用が課題です。経年劣化による家賃引き下げは、民間の経営を圧迫することになり、難しいです。

**問** 町営住宅のバリアフリー化はしてはどうか。

一般質問

一般質問

# 学校統合による空き校舎、災害時の避難場所

町長 広域避難場所としての位置づけを考慮し検討します



岡部 学

**問** 学校統合による空き校舎の利用について、災害時の避難場所として使えるようにしておく必要があるのでは。

**町長** 統合小・中学校整備庁内検討会議において、空き校舎等の利用について意見の集約を行っています。佐久穂町防災計画に指定されている、広域避難場所としての位置づけを考慮しながら検討したいと思えます。

**問** 通学路の選定や危険箇所

**町長** 安全な通学路確保に向け、主要地方道川上・佐久線バイパス工事の準備をすすめています。国道141号線と下畑橋の交差点への信号機と横断歩道の設置を、佐久警察署を通し県公安委員会へ要望しています。国道299号線四ツ谷交差点への歩行者滞留所の設置や、国道141号線への歩道の整備などをすすめていきます。

国保税減額・免除の制度を

**問** 国保税の引き上げが避けられない事態というが、低所得者のため、町独自の減額、免除の制度をつくってはどうか。

**町長** 国保税については、ありったけ低くと合併以来やってきて、基金も底をついたため、上げざるを得ません。本当に大変なお宅については、考えてみたいと思います。



四ツ谷交差点

総括質疑

**問** 共同作業所への清掃委託賃金が、一般委託料に変更になったが、陽だまりの家の指定管理料に含まれないのか。

**答** 指定管理料に含まれません。清掃委託料は、陽だまりの家の利用者が行う、トイレ清掃という労働に対して支払うものです。



## 須田道春議員 御逝去



平成二十三年三月下旬より、自宅に於いて、病氣治療に専念していましたが、平成二十三年五月五日に、御逝去されました。

平成十七年、町村合併し初めての議会議員選挙にて初当選され、今日に至っております。

故須田道春様は、永年佐久町職員として御活躍され、定年前に、当時の佐久町長に手腕を見込まれ、若くして町収入役を務めておられました。

議会人になられたからは、社会福祉委員として、子育て支援、在宅老人福祉対策等に取り組んでこられました。

又、議員活動の一部でもある、先進地視察研修に於いても、ハンディキャップがあるにも拘わらず積極的に参加されるなど、その高い学習意欲には、敬服させられました。

町の発展にとつて、欠かせない人物でしたが、あまりにも早い御逝去には、只々残念でなりません。

心より、お悔やみ申し上げます。



# 平成23年度 第3回臨時議会

第3回臨時議会  
が、4月20日に  
開かれました

議案3件。

条例改正、一般会計補正  
予算、人事案が内容です。

● 条例改正2件

公益法人等へ職員派遣  
に際し、不利益が生じな  
いように改正する。

● 一般会計

固定資産税の課税に、  
不服の訴えがあり、この  
訴訟費用100万円の増  
額補正。

● 教育委員会委員の任命に  
ついて。  
関 さゆり 氏

審議の結果、原案どおり  
可決しました。

## 一部事務組合

## 議会報告

### 佐久広域

### 連合

### 平成23年度

### 第1回定例会

一、条例改正2件。

広域行政圏計画審議会  
条例の廃止と消防施設整  
備基金を設置するもの。

二、その他2件。

広域計画策定と、老人  
ホーム徳花苑の指定管理  
者に立科町を指定するも  
の。

三、平成22年度一般会計他

5特別会計補正予算。  
事業の精査による減額  
補正。



佐久水道配水池

四、平成23年度一般会計他  
5特別会計予算案につい  
て。

提出された案件は、原案  
どおり可決されました。

### 佐久水道

### 企業団

### 平成23年度

### 第1回臨時議会

一、議長、副議長の選挙、  
常任委員、議会運営委員  
の選任、正副委員長の互  
選が行われました。

二、監査委員に菊原初男氏  
を再任することが同意さ  
れました。

三、平成23年度水道事業会  
計補正予算。  
配水池の耐震診断7千  
万円の増額補正。

原案どおり可決されまし  
た。

## 佐久平環境 衛生組合

### 平成23年度 第1回臨時議会

一、議長、副議長の選挙、  
議会運営委員の選任、正  
副委員長の互選が行われ  
ました。

二、監査委員に三浦正久氏  
を選任することが同意さ  
れました。





# 活動から

## 総務文教常任委員会

### 国民健康保険税条例 改正について審査 意見を付して可決

国保会計は、合併以来基金を取りくずし税率をすえ置いてきましたが、22年度で基金がほとんどなくなるため、23年度より税率を9・6%引き上げとするものです。

厳しい経営状況であり、税率の改正はやむを得ないと考えるが、低所得世帯の負担軽減を図ることが重要であるとの意見で一致。一般会計からの繰入を検討すべき旨、意見を付しました。



太陽光発電設置家屋

### 平成23年度 補正予算

太陽光発電設置補助金が不足となるため、500万円追加しました。

東日本大震災災害避難者受入施設として、白石荘を指定し300万円。他、災害地への職員派遣経費等で456万2千円が計上されました。

統合小中学校敷地買収に係る代替地補修工事費450万円が計上されました。

海瀬グラウンド借地5,190㎡を㎡1,480円、768万2千円が、土地購入費として計上されました。

### 佐久穂町条例改正

#### 税条例の一部改正

東日本大震災の被害者への、税制上の緊急対応として措置を講ずるものです。

#### 町立学校設置条例の一部改正

佐久東小学校を24年3月31日で閉校するため、条例から削除するものです。

#### 国民健康保険条例の一部改正

出産一時金は、経過措置で39万円となっていました。経過措置後も39万円の支給となります。

#### 佐久穂町へき地保育所条例を廃止

休園としていた大日向保育園を閉園とするため、条例を廃止するものです。



廃園となる大日向保育園

# 委員会

## 経済福祉常任委員会

### 子宮頸がん ワクチン接種再開

ワクチン不足で、希望者に接種できないでいましたが、7月からワクチンが供給され、接種が再開されます。

年生から高校1年生までの4学年が対象で、申請して受けられなかった22人の2回分の予算です。

接種率88・6%になります。

平成22年、23年度は国の補助事業です。現在中学1

### 迷わず山を調査 出来るシステム

森林整備計画をつくるため、携帯型GPS（全球無線測位システム）を1台購入する補正予算52万5千円。

人工衛星からの電波を利用する機械です。山の状況を調査する人が歩いた形跡

を記録出来、また自分が今いる場所の確認をすることが出来るものです。

山を知る専門の職員を置けば必要と思われるが、県との連携上、やむを得ないと全員賛成しました。

## 有害鳥獣ネット設置交付金を 増額 435万5,000円

対策をしても、なかなか減らない有害鳥獣ですが、中でもシカの被害には泣かされています。

町では、組織型（集落単位）のネット設置に交付金があります。昨年は2地区新たに2地区計4地区分の増額補正です。

● 昨年から継続の地区  
柳沢 0・72 km  
八郡まきの平 0・6 km

● 新規地区  
大日向 2・8 km  
へび石・大石 1・7 km



獣害ネットで野菜を守る地域

# 町内視察

## 委員会合同

去る6月8日6月定例会中、委員会合同での町内視察を行いました。

委員会より説明を受けました。

③町道穴原線〜崎田線、花岡妻上線

〈今議会陳情路線〉

東電調整池を通る、台地上の拡幅・改良する陳情であり、すれ違いの出来ない危険箇所を含め、建設課より説明を受けました。

### 視察場所

①統合小・中学校建設予定地

平成27年度開校予定の統合小・中学校の建設予定地の購入は、ほぼ決まりました。教育

②県道川上佐久線バイパス計画予定路線

〈海瀬〜穂積間〉中部横断道八千穂IC、統合校舎建設に伴い、バイパス計画の予定路線について、建設課より説明を受けました。



川上佐久線バイパス予定地付近



町道花岡妻上線

議員 松澤健一

議員 友野辰五郎

## 表彰される

### 自治功労者表彰

松澤健一 議員

議会活動を通じ、地方自治の進展のため大きな役割を果たしていることが高く評価され、全国町村議会議長会より表彰を受けられました。誠にありがとうございます。

### 感謝状

友野辰五郎 議員

議会活動を通じ、南佐久郡の伸展と地方自治の振興に大きな役割を果たしていることが高く評価され、南佐久郡町村議会会長より表彰されました。誠にありがとうございます。





# 請願

「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める  
請願書

佐久穂町教職員組合  
新海 博江  
紹介議員  
小林 武

国の責務である教育水準の最低保障を担保するために、必要不可欠な義務教育費国庫負担制度を堅持し、負担率を1/2に還元すること。国庫負担金から既に除外した教材費、旅費、共済費、退職手当など還元すること。

(採択)

30人規模学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書提出に関する請願書

佐久穂町教職員組合  
新海 博江  
紹介議員  
小林 武

学校をとりまく諸問題を解決するため、国の責任で早期に「30人学級定員」を

実現することを含めた、新教職員定数改善計画を即座に実施すること。また学校現場に必要な教職員の人員・人材を確保すること。

(採択)

長野県独自の30人規模学級の、中学校全学年への早期拡大と複式学級の解消、県独自に教職員配置増を求める意見書提出に関する請願書

佐久穂町教職員組合  
新海 博江  
紹介議員  
小林 武

次代を担う子どもたちの健やかな成長のために、県独自の「30人規模学級」を中学校全学年へ早期に拡大すること。現行の複式学級の編成基準を改善し、県独自に複式学級解消措置を更に充実すること。県独自で教職員配置の大幅増を実現すること。

(採択)

# 陳情

町道穴原・崎田・花岡妻上線の拡幅改良に関する陳情書

筆岩区長 篠原 博文  
高岩区長 佐藤 重廣  
中央区長 黒澤 信夫  
穴原区長 内藤 吉男  
天神町区長 出浦 晃彦  
崎田区長 高見澤国勝  
花岡区長 土屋 一芳  
下海瀬区長 山口 英男  
海瀬新田区長 細川 哲

花岡妻上、東電調整池、穴原は、長い距離にも関わらず大変狭く危険のため、道路拡幅、改良の願いを



30人学級の早期実現を

するもの。(採択)

前議会から継続審査となっている「公共建築物の設計等」に関する陳情は、再び継続審査となりました。



東電調整池横道路



卒業式

## 閉会中の議員活動

3月～5月  
(主なもの)

- 3月
  - 小・中学校卒業式
  - 保育園卒業式
  - 佐久広域連合定例会
  - 広報編集調査特別委員会
- 4月
  - 保育園入園式
  - 小・中学校入学式
  - 障がい者福祉施設「陽たまりの家」開所式
  - 第25回ツールド八ヶ岳
  - メルヘン街道開通式
  - 統合小中学校建設検討委員会
  - 遺族会総会
- 5月
  - 交通安全運動人波作戦
  - 南佐久郡議長会
  - 商工会総会
  - 統合小中学校建設検討委員会
  - 佐久病院 病院祭
  - 交通安全協会総会
  - シルバー人材センター総会
  - 横浜社会福祉協会評議員会
  - 佐久平環境衛生組合議会臨時会
  - 佐久水道企業団議会臨時会
  - 千曲病院経営審議会
  - 議会運営委員会

# 心の再起へ

市川 長太郎



床下のヘドロの排出

東日本大震災から3カ月が過ぎた6月13日〜16日間で、宮城県で復旧支援ボランティアの活動をしてきました。

仙台市から国道45号線を石巻方面に車を走らせていると、東松島市付近では、あの津波の恐ろしい爪痕が眼に入りました。田んぼには瓦礫や流木が重なり、一部は撤去もされていました。手付かずのところもほとんどです。独特の臭いは車の中にも充満しました。

東松山市、航空自衛隊東松島駐屯地のすぐ近く、海から3km内陸にはいった新興住宅地、全戸が津波の被害を受けています。

田んぼは海水が溜まり、船・トラックなどが無残な姿を見せ、思わず眼を覆いたくなりました。スギ・ツゲの街路樹は塩害で、茶色く枯れはてていました。

作業は築15年の住宅。家主さんは震災当時、家族3人とも家から避難していましたが、4日後に戻ったそうです。約2mの高さまで津

波が押し寄せ、その跡が確認できました。

床下に堆積したヘドロは8cmもの厚さで、バウムクーヘンのように、何重も層が出来ていて、玉子焼きのような堅さ。スコップで削ぎ取るように取り除いてきました。わずか2日間の作業でしたが、恵まれた日々の生活、たすけ合う心、おもいやる心を、今回のボランティアを通して再確認させて頂きました。

帰りに家主さんからは、「ご尽力のおかげで我が家ばかりか、家族の心も再起への一歩を踏み出すことが出来ました。よみがえったわが家へ遊びにおいでいただければ幸いです」と礼状を頂きました。

機会をみつけて、また行きたいと思っています。

**次回定例会は  
9月上旬に  
予定しています。**

多くの皆さんの傍聴をお待ちしています。

## 読んで分かる紙面をめざして

議会広報編集調査特別委員会

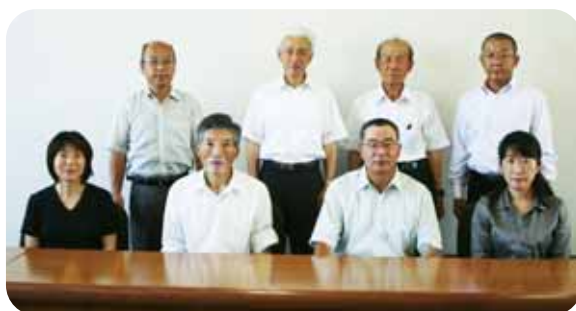
議会構成が変わり、メンバーも一部入れ替わりました。

これまでの広報編集委員会が目指してきた、読みやすく、親しまれる「議会だより」づくりに向け、一同気持ちを新たに取組んでいきます。

「読めば町の動きや、課題がよく分かる」と言っていただけよう、一層工夫・研究を重ねていきたいと思えます。

読まれての感想やご意見をお寄せください。

編集委員長 岡部 学  
副編集委員長 小林 武



編集委員 高見澤 春野  
編集委員 井出 和廣  
編集委員 浅井 正昭  
編集委員 岡部 勝一

## 編集後記

東日本大震災から4カ月。今、被災地では復興に向け、懸命な努力が続けられています。しかし、あの大きな災害からの復興は、個人の

力だけではどうにもならない。政治の速やかな対応こそ強く求められているのに、国会は被災者を置きざりにした政争のくり返し。被災者の悲痛の思いを受けとめ、大同に付くときではないでしょうか。